

3 コメ

(1) 国際的なコメ需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2021/22 年度

生産量 前年度比  前月比 

・エジプトや米国で下方修正されたことから前月から下方修正された。史上最高の見込み。

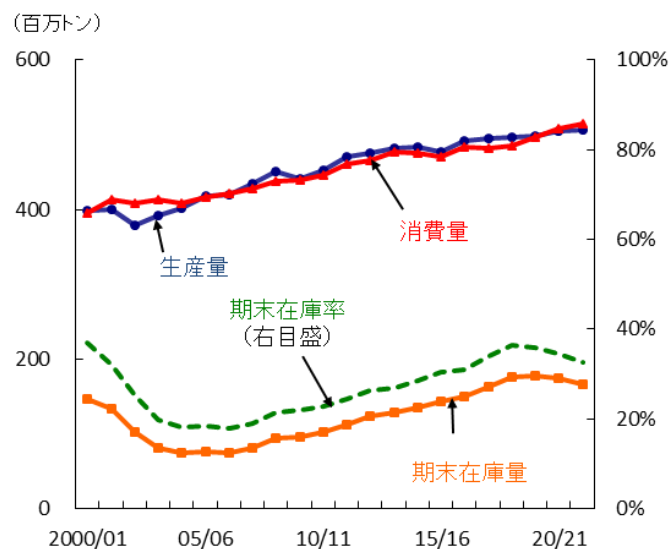
消費量 前年度比  前月比 

・米国等で下方修正されたことから前月から下方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比  前月比 

・米国等で上方修正されたことから前月から上方修正された

期末在庫量 前年度比  前月比 



資料：USDA「PS&D」(2021.7.12)をもとに農林水産省にて作成

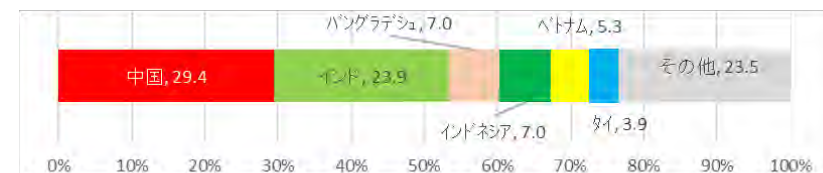
◎世界のコメ需給

(単位：百万精米トン)

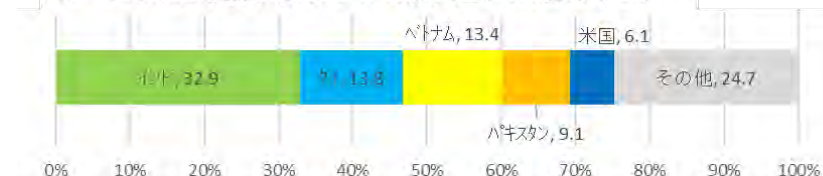
年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	497.7	504.9	506.0	▲ 0.6	0.2
消費量	496.5	507.9	514.0	▲ 0.5	1.2
輸出量	43.4	49.1	47.1	0.1	▲ 4.0
輸入量	42.3	45.0	45.4	0.7	0.9
期末在庫量	177.8	174.9	167.0	▲ 1.4	▲ 4.5
期末在庫率	35.8%	34.4%	32.5%	▲ 0.2	▲ 2.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(12 July 2021)

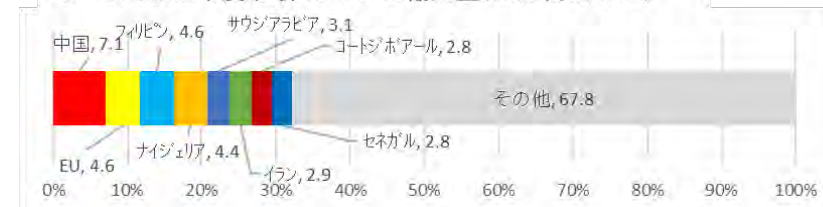
○ 2021/22年度 世界のコメの生産量 (506.0百万トン) (単位：%)



○ 2021/22年度 世界のコメの輸出量(47.1百万トン)



○ 2021/22年度 世界のコメの輸入量(45.4百万トン)



(2) 国別のコメの需給動向

< 米国 > カリフォルニア州の乾燥や作付面積の減少で減産見通し

【生育・生産動向】USDAによれば、2021/22年度の生産量は前月予測から0.1百万トン下方修正され、対前年度比12.4%減の6.3百万トンの見込み。このうち、中・短粒種の生産量は全体の約24%を占める。同「Rice Outlook」(2021.7.14)によれば、USDAが6月30日に発表した作付面積において、ほぼ全て米国南部で生産される長粒種は3月末時点とほぼ同じであったが前年同期比では11%減少。カリフォルニア州で米国の3分の2が生産される中・短粒種の作付面積は、3月末の作付意向調査時点より1.9万ヘクタール減少し、前年度比17%減少の23.6万ヘクタール。カリフォルニア州の深刻な干ばつと灌漑用の貯水量の極端な減少が主な要因と見られる。

同「Crop Progress」(2021.7.19)によれば、主要生産6州の7月18日現在の出穂進捗率は30%で過去5年(2016-2020年)平均(36%)より6ポイント遅れている。主要6州の作柄評価は、良からやや良が72%と前年度同期(73%)より1ポイント劣っている。そのうちカリフォルニア州は良からやや良が90%となっている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、消費量は前月予測から0.1百万トン下方修正され、対前年度比0.6%増の4.9百万トンの見込み。輸出量は前月予測から0.1百万トン上方修正され、対前年度比3.1%減の2.9百万トンの見込み。生産量の減少に加えて、特に米国産長粒種の価格が他の輸出国に比べて高いため輸出競争力に乏しいことが要因と見られる。輸入量は前月予測から変更なく対前年度比12.7%増の1.2百万トンの見込み。

同「Rice Outlook」(2021.7.14)によれば、今年の収穫量の減少予想からカリフォルニア米の精米価格がこの一か月で上昇し、6月29日までの週の地中海向けカリフォルニア米(1等、砕米4%混入、国内精米)の価格は、6月8日までの週より80ドル/トン上昇し、カリフォルニア州が深刻な干ばつにみまわれていた2014年3月以来の高値となる1,100ドル/トンとなった。一方、6月29日までの週のイラク向け長粒種(2等、砕米4%混入)の価格については、6月8日までの週と変わらず630ドル/トンとなっている(P18の「長粒種のFOB価格の推移」を参照)。

コメー米国

主に中・短粒はカリフォルニア、長粒はミシシッピ川沿いで栽培
カリフォルニア州の全米のコメ生産に占める生産シェアは約2割

(単位:百万精米トン)

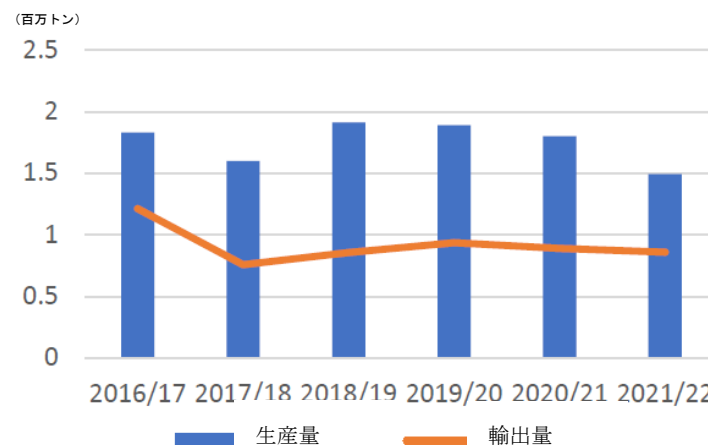
年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	5.9	7.2	6.3	▲ 0.1	▲ 12.4
消費量	4.6	4.8	4.9	▲ 0.1	0.6
輸出量	3.0	3.0	2.9	0.1	▲ 3.1
輸入量	1.2	1.1	1.2	0.0	12.7
期末在庫量	0.9	1.5	1.3	0.1	▲ 10.3
期末在庫率	12.0%	18.8%	17.0%	0.9	▲ 1.8

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.00	1.21	1.06	▲ 0.02	▲ 12.4
単収(もみt/ha)	8.38	8.54	8.54	▲ 0.03	-

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)

図: 米国産中・短粒種の生産量と輸出量の推移



資料: USDA「Grain: World Markets and Trade」(2021.7.12)

< インド > 2020/21 年度の輸出量が 1,900 万トンに上方修正

【生育・生産動向】USDA によれば、2021/22 年度の生産量は前月予測からの変更はなく、対前年度比 0.8%減の 121.0 百万トンの見込み。同「Weekly Weather and Crop Bulletin」(2021.7.13)によれば、インドでは南西モンスーンが急速に発生した後、東部と南部では生育に十分な降雨があり土壌水分が改善された。一方、西部では季節外れの乾燥が続いた。

インド農業省発表(2021.7.16)によると、カリフ作物の作付が進展し、コメは 16.2 百万ヘクタールであり、昨年同時期(17.4 百万ヘクタール)及び5年間平均(16.4 百万ヘクタール)よりも減少している。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2021/22 年度の消費量は前月予測からの変更はなく、対前年度比 0.9%増の 108.0 百万トンの見通し。2021/22 年度の輸出量は前月予測からの変更はなく、対前年度比 18.4%減の 15.5 百万トンの見通しも高水準。なお、2020/21 年度のインドのコメ輸出量は前月予測から 2.0 百万トン上方修正されて史上最高の 19 百万トンになる見通し。輸出ペースが強いのと輸出価格の競争力が高いことが要因と見られている。

インド商工省の輸出量データによると、2021 年 4 月のコメ全体の輸出量は 1.6 百万トン(最大はベトナム向けの 0.2 百万トン)、そのうちバスマティ米は 0.3 百万トン。

USDA「Rice Outlook」(2021.7.14)によれば、インド産米(碎米 5%混入)の 6 月 29 日までの週の価格は 6 月 8 日までの週と変わらず 385 ドル/トンであり、依然としてタイやベトナムなどアジアの他の輸出国と比較して最も競争力が高い(P18 の「長粒種の FOB 価格の推移」を参照)。

コメーインド

雨季をカリフ、乾季をラビと呼ぶ。北部はカリフ・ラビ(小麦)の二毛作、南部はカリフ・ラビの二期作。主にインディカを栽培

(単位: 百万精米トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()は IGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	118.9	122.0	121.0	(123.3)	-	▲ 0.8
消 費 量	106.0	107.0	108.0	(107.6)	-	0.9
輸 出 量	12.5	19.0	15.5	(15.2)	-	▲ 18.4
輸 入 量	0.0	0.0	0.0	(0.0)	-	-
期末在庫量	29.9	25.9	23.4	(24.9)	▲ 2.0	▲ 9.7
期末在庫率	25.2%	20.6%	18.9%	(20.3%)	▲ 1.6	▲ 1.6

(参考)

収穫面積(百万ha)	43.66	44.40	44.40	(44.75)	-	-
単収(もみt/ha)	4.08	4.12	4.09	(2.75)	-	▲ 0.7

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)
IGC「Grain Market Report」(24 June 2021) (単収は精米t/ha)

< 中国 > 国内消費が1億5,600万トンで史上最高の見通し

【生育・生産動向】USDAによれば、2021/22年度の生産量は前月予測からの変更はなく、対前年度比0.5%増の149.0百万トンの見込み。

中国糧油情報センターによれば、6月末、早稲産地の大部分で出穂から乳熟期に入っており、全国早稲の一、二類苗の比率はそれぞれ16%、84%であった。各販売区の地方政府所有の備蓄倉庫は積極的に2021年度新穀早稲の契約を行っており、平均仕入れ価格は2,600円/トン程度であった。黒竜江等東北地区の一期作稲は活着から分げつ期に入っており、江蘇、安徽、湖北等の各地区は三葉から活着・分げつ期に入っている。四川、貴州、雲南、重慶等地区的の大部分は分げつから節間伸長期に入っており、全国一期作稲の一、二類苗の比率はそれぞれ35%、63%であった。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の消費量は前月予測からの変更はなく、対前年度比3.7%増の156.0百万トンの見込み。同「Rice Outlook」

(2021.7.14)によれば、2021/22年度に中国で増加が予測される消費量のほぼすべてを工業用と飼料用が占める。

USDAによれば、2021/22年度の輸出量は前月予測からの変更はなく、前年度と同じ2.4百万トンの見込み。2021/22年度の輸入量は前月予測から0.3百万トン上方修正され、対前年度比11.1%減の3.2百万トンの見込み。2021年1月から5月の5か月間で、飼料用としてのインドからの約0.4百万トンを含み2020年の輸入量の4分の3以上となる2.2百万トン以上を輸入している。

中国農業農村部「農産品供需形勢分析月報」(2021年5月)によれば、国内市場においては、南部の生産地は夏の収穫穀物の在庫入れ替え圧力に直面しており、東北部の生産地では気温の上昇により露天でのジャポニカ粳の保存が難しいため農家の販売意欲が高まっている。一方、粳の保存コストの精米価格への転嫁や政府備蓄の最低価格買付粳の競売価格が比較的高い等の要因に支えられ、今後、国内米市場は基本的に安定すると見られている。2021年5月の全国平均品種別米卸売価格はそれぞれ早稲インディカ米3,860円/トン、晩稲インディカ米4,280円/トン、一期作ジャポニカ米4,260円/トンになっている。

※一類苗:生育が正常な苗、二類苗:通常の苗よりやや小さく弱まっている苗

コメー中国

北部で一期作、南部で二期作。ジャポニカ(粳)米は東北地区、江蘇省等で栽培、生産シェアは3割程度

(単位:百万精米トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	146.7	148.3	149.0	(150.5)	-	0.5
消費量	145.2	150.4	156.0	(150.0)	-	3.7
輸出量	2.6	2.4	2.4	(2.6)	-	0.0
輸入量	2.6	3.6	3.2	(2.6)	0.3	▲ 11.1
期末在庫量	116.5	115.6	109.4	(110.9)	0.3	▲ 5.4
期末在庫率	78.8%	75.7%	69.1%	(72.7%)	0.2	▲ 6.6

(参考)

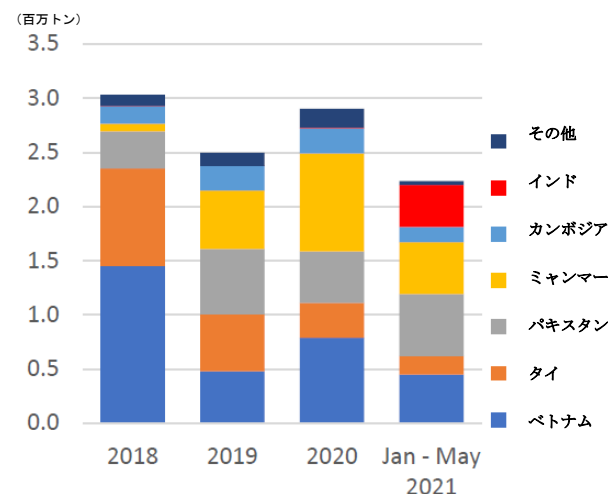
収穫面積(百万ha)	29.69	30.08	30.00	(30.30)	-	▲ 0.3
単収(もみt/ha)	7.06	7.04	7.10	(4.97)	-	0.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(12 July 2021)

IGC 「Grain Market Report」(24 June 2021) (単収は精米t/ha)

図: 中国のコメ輸入先と輸入量の変化



(注) 暦年のための表(市場年度7-6月)とは異なる。

資料: USDA 「Grain: World Markets and Trade」(2021.7.12)

< タイ > モンスーンにより産地の土壌水分量が改善

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～同年12月)の生産量は、18.8百万トンと対前年度比6.2%の増加見込み。

同「Weekly Weather and Crop Bulletin」(2021.7.13)によれば、雨期の初期は降雨が少なかったがその後モンスーンによる降雨が見られ、多くの地域では50～150ミリメートル近くの降雨量を記録し、この雨がちの天候によりコメへの水分供給が大きく改善された。

USDAによれば、2021/22年度(2022年1月～同年12月)の生産量は前月予測からの変更はなく、対前年度比3.6%増の19.5百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、対前年度比12.1%増の6.5百万トンの見込みとなり、ベトナムの輸出量(6.3百万トン)を上回り、インドに次ぐ世界第2位のコメ輸出国となる見通し。

タイ米輸出協会によれば、2021年1月から5月までの輸出量は、前年同期比31.0%減少の177.8万トン。輸出先国は、南アフリカ(23.9万トン)、米国(22.1万トン)、日本(14.5万トン)の順となっている。

USDA「Rice Outlook」(2021.7.14)によれば、7月5日までの週のタイ産米(長粒、2等丸米)の輸出価格は、6月7日までの週より38ドル/トン下落し434ドル/トンとなっている。

コメ・タイ

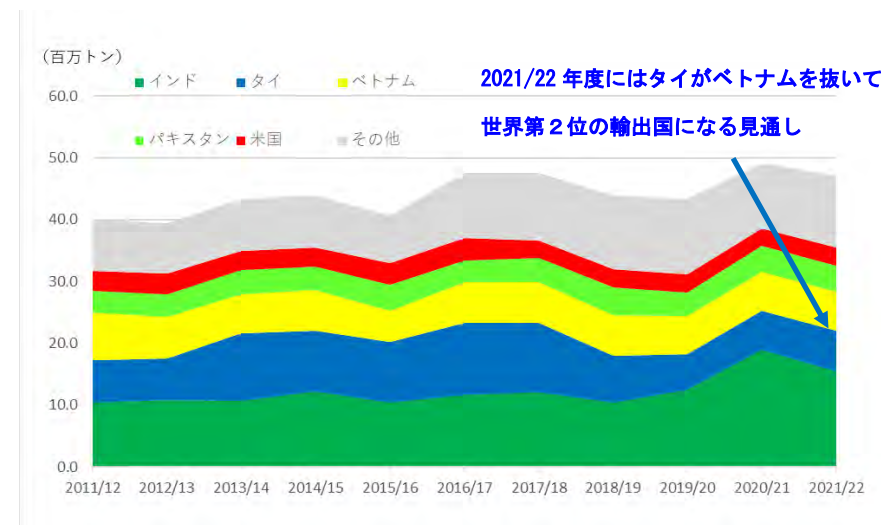
夏期の雨季作と冬期の乾季作で行われる。主にインディカを栽培

(単位: 百万精米トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	17.7	18.8	19.5 (20.1)	-	3.6	
消 費 量	12.3	12.7	12.9 (12.5)	-	1.6	
輸 出 量	5.7	5.8	6.5 (7.5)	-	12.1	
輸 入 量	0.3	0.2	0.2 (0.3)	-	-	
期末在庫量	4.0	4.5	4.8 (7.2)	-	6.7	
期末在庫率	22.1%	24.4%	24.8% (36.0%)	-	0.4	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	9.89	10.40	10.50 (10.63)	-	1.0	
単収(もみt/ha)	2.70	2.74	2.81 (1.89)	-	2.6	

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)
IGC「Grain Market Report」(24 June 2021) (単収は精米t/ha)

図: 世界のコメの主要輸出国の輸出量の推移



資料: USDA「PS&D」(2021.7.12)をもとに農林水産省にて作成

< ベトナム > タイと輸出2位争いの一方、インド産を輸入

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～2021年12月)の生産量は、前年度と変わらず27.1百万トンの見込み。

2021/22年度(2022年1月～2022年12月)の生産量は前月予測からの変更はなく、対前年度比0.7%減少の26.9百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、対前年度比1.6%増の6.3百万トンの見込み。また2021/22年度の輸出量は前月予測からの変更はなく、前年度と同じ6.3百万トンの見込み。

一方で、2020/21年度の輸入量については、3月にインドから歴史的に0.25百万トンの砕米を輸入した報告を受けて上方修正された。インドからの輸入の傾向は今後数か月継続されると見られる。ベトナムの2021年のコメ輸入は、1976年以降で最大となる。

ベトナム税関総局によれば、2021年1月から6月の間のコメの輸出量は302.8万吨にのぼる。

USDA「Rice Outlook」(2021.7.14)によれば、収穫が終了した冬春作及び最近収穫が始まった夏秋作のどちらも6月に価格を下げた。ベトナム産米(長粒、砕米5%混入)は価格競争力が低いことから新規の需要が乏しいため、冬春作の6月29日までの週の価格は、6月8日までの週よりも15ドル下落し470ドル/トンであった。また、秋作の6月29日までの週の価格は、6月8日までの週よりも35ドル/トン下落し425ドル/トンであった。夏秋作は原則的に、雨季の降水量や高水分含有量による品質問題があるため、冬春作よりも低価格で販売される傾向にある。

コメベトナム

北部で二期作、南部で二期作、三期作。主に長粒種、一部で短粒種も栽培

(単位:百万精米トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	27.1	27.1	26.9	(28.3)	-	▲ 0.7
消費量	21.3	21.3	21.3	(22.6)	0.1	0.2
輸出量	6.2	6.3	6.3	(6.4)	-	-
輸入量	0.4	0.7	0.5	(0.6)	-	▲ 28.6
期末在庫量	1.2	1.4	1.2	(2.9)	0.1	▲ 14.0
期末在庫率	4.3%	5.2%	4.5%	(10.0%)	0.3	▲ 0.7

(参考)

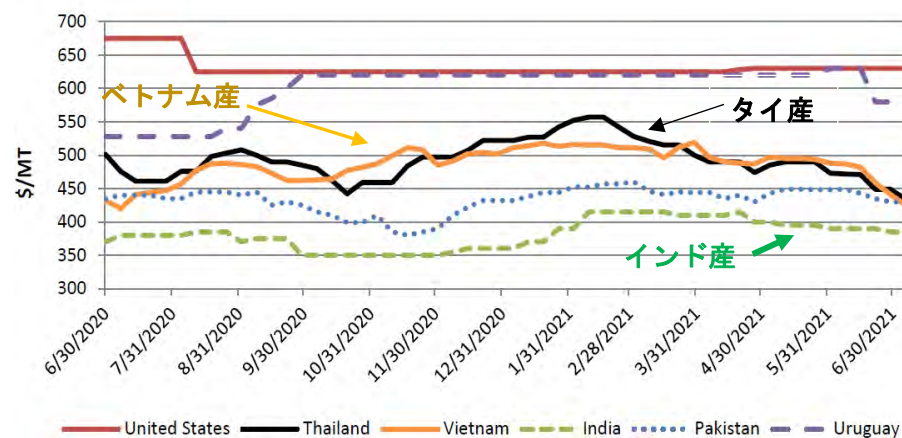
収穫面積(百万ha)	7.38	7.35	7.30	(7.45)	-	▲ 0.7
単収(もみt/ha)	5.88	5.90	5.90	(3.80)	-	-

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(12 July 2021)

IGC「Grain Market Report」(24 June 2021)(単収は精米t/ha)

図: 長粒種のFOB価格の推移



資料: USDA「Grain: World Markets and Trade」(2021.7.12)

Ⅱ 油糧種子 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2021/22 年度

生産量 前年度比 前月比

・カナダで下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

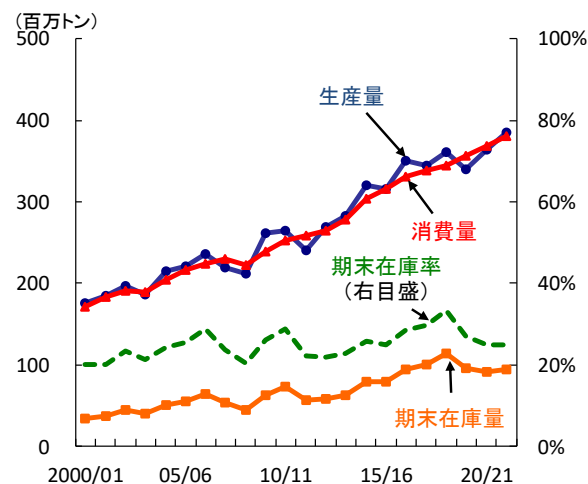
消費量 前年度比 前月比

・カナダ、インドで下方修正も、アルゼンチンで上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 前月比

・インドで上方修正も、カナダで下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 前月比



資料：USDA「PS&D」（2021.7.12）をもとに農林水産省で作成

◎世界の大豆需給

(単位：百万トン)

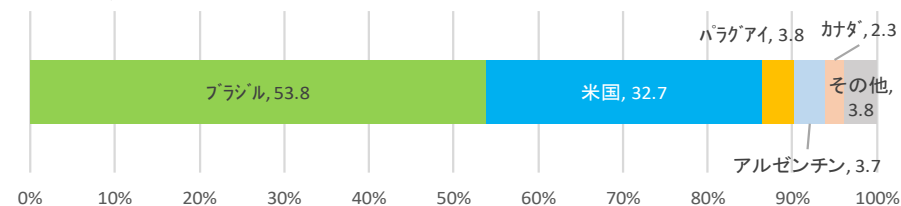
年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	339.4	363.6	385.2	▲ 0.3	6.0
消 費 量	357.4	368.9	381.1	0.3	3.3
うち搾油用	311.5	322.0	332.0	0.4	3.1
輸 出 量	165.1	165.5	172.9	▲ 0.1	4.4
輸 入 量	165.0	165.8	171.7	▲ 1.0	3.6
期末在庫量	96.5	91.5	94.5	1.9	3.3
期末在庫率	27.0%	24.8%	24.8%	0.5	▲ 0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(12 July 2021)

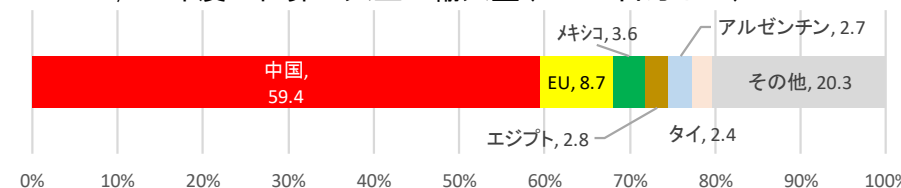
○ 2021/22 年度の世界の大豆の生産量 (385.2 百万トン) (単位：%)



○ 2021/22 年度の世界の大豆の輸出量 (172.9 百万トン)



○ 2021/22 年度の世界の大豆の輸入量 (171.7 百万トン)



(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 > 収穫面積増で増産も輸出は減少見通し

【生育・生産状況】USDAによれば、2021/22年度の生産量は、「作付面積調査」(2021.6.30)で面積に変更がなかったことから前月予測からの変更はなく、主に大豆価格の上昇を背景とする収穫面積の増加から前年度より6.5%増の119.9百万トンの見込み。「Crop Progress」(2021.7.19)によれば、主要18州における開花進捗率は63%と、前年度同期(62%)及び過去5年平均(57%)より進んでいる。着莢進捗率は23%と、前年度同期(23%)と並び、過去5年平均(21%)より進んでいる。作柄評価は、コーンベルト北西部の5月から6月上旬の高温乾燥の影響により、良からやや良が60%と前年度同期(69%)を下回っている。7月から8月にかけての開花期から着莢期の天候に注意が必要。

【需要動向】USDAによれば、2021/22年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、大豆由来のバイオ燃料需要の増加により搾油用需要を中心に増加することから、前年度より3.0%増の63.8百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、期首在庫の減少に伴う供給量の減少及び国内消費の増加に伴い、史上最高の輸出量となった前年度より8.6%減の56.5百万トンの見込み。

なお、USDAによれば、輸出検証高(2021年1月7日～7月1日)は、18.3百万トンであり、内訳は中国(7.5百万トン)、メキシコ(2.2百万トン)、エジプト(1.4百万トン)、インドネシア(1.2百万トン)の順。

USDAによれば、2021/22年度の期末在庫量は、前年度より15.3%増の4.2百万トンの見込み。しかし、期末在庫率は3.5%で依然として低水準となっている。

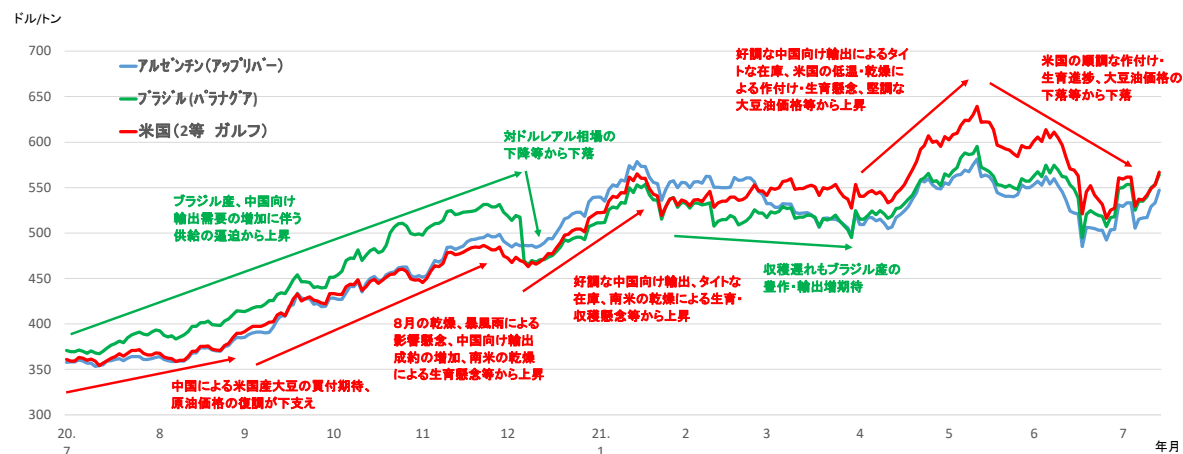
大豆－米国

(単位：百万トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値	前月予測からの 変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	96.7	112.6	119.9	-	6.5
消 費 量	61.9	61.9	63.8	-	3.0
うち搾油用	58.9	59.1	60.6	-	2.5
輸 出 量	45.7	61.8	56.5	-	▲ 8.6
輸 入 量	0.4	0.5	1.0	-	75.9
期末在庫量	14.3	3.7	4.2	-	15.3
期末在庫率	13.3%	3.0%	3.5%	-	0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.33	33.31	35.09	-	5.3
単収(t/ha)	3.19	3.38	3.42	-	1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)

図：米国、ブラジル、アルゼンチン大豆輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成

< ブラジル > 収穫面積増で増産、史上最高となる見通し

【生育・生産状況】USDAによれば、2021/22年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より5.1%増の144.0百万トンとなり、史上最高の見込み。本年9月以降に作付けが開始される。なお、2020/21年度の収穫は、主産地では終了している。

また、ブラジル食料供給公社(CONAB)月例報告(2021.7.8)によれば、2020/21年度の実産量は、単収が前月予測からわずかに上方修正され、前年度より8.9%増の135.9百万トンで史上最高の見込み。

【需給状況】USDAによれば、2021/22年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、搾油用消費量の増加から、前年度より1.9%増の50.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、生産量の増加と世界的な需要増から前年度より12.0%増の93.0百万トンの見込み。なお、2020/21年度の輸出量は、中国の大豆在庫が積み上がり、ブラジル産の輸入減少に伴い、前月予測から3.0百万トン下方修正され、83.0百万トンの見込み。

ブラジル貿易統計によれば、2021年6月の輸出量は11.1百万トンで、前年同月(12.7百万トン)に比べ13%減。2021年1～6月の輸出量は57.6百万トンで、前年同期に比べ2%減となっている。内訳は、1位が中国で39.8百万トン、2位がスペインで2.3百万トンとなっている。

ブラジルのクロップカレンダー(中部から南部)

2021年2月以降大豆の収穫が行われ、その後、一部圃場で冬とうもろこしを栽培。

2020/21年度	2020年												2021年								
	1月	...	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
夏とうもろこし	リオグランデ・ド・スル州等												収穫 24.9(百万t)								
	作付 4.4(百万ha)												収穫夏冬計 93.4百万t								
冬とうもろこし	作付面積夏冬計 19.8百万ha												作付 15.5(百万ha)								
	マトグロソ州、パラナ州等												収穫 68.5(百万t)								
大豆	作付 38.5(百万ha)												大豆収穫後の一部圃場で冬とうもろこし播種								
													収穫 135.9(百万t)								

資料：CONAB穀物レポート(2021.7.8)

大豆ーブラジル

(単位：百万トン)

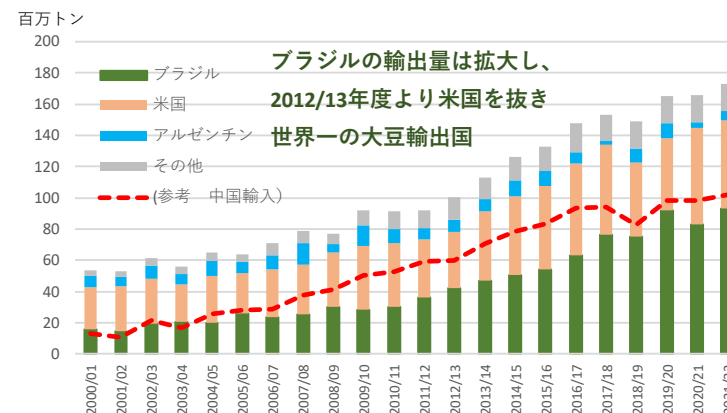
年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	128.5	137.0	144.0 (141.3)	-	5.1	
消 費 量	48.7	49.4	50.4 (48.7)	-	1.9	
うち搾油用	46.0	46.8	47.7 (46.1)	-	2.0	
輸 出 量	92.1	83.0	93.0 (91.8)	-	12.0	
輸 入 量	0.6	1.0	0.7 (0.1)	-	▲ 35.0	
期末在庫量	20.7	26.3	27.6 (3.9)	3.3	4.9	
期末在庫率	14.7%	19.9%	19.3% (2.8%)	2.3	▲ 0.6	

(参考)

収穫面積(百万ha)	36.90	38.60	40.40 (39.90)	-	4.7
単収(t/ha)	3.48	3.55	3.56 (3.54)	-	0.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)
IGC「Grain Market Report」(24 June 2021)

図：世界の大豆輸出国の輸出量の推移



資料：USDA「PS&D」(2021.7.12)のデータをもとに農林水産省にて作成

＜ アルゼンチン ＞ 収穫面積増で増産見通しも輸出税継続

【生育・生産状況】USDAによれば、2021/22年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、収穫面積及び単収の増加により、前年度より11.8%増の52.0百万トンの見込み。11月以降に作付けが開始される。なお、2020/21年度の収穫は6月下旬で終了した。

【需給状況】USDAによれば、2021/22年度の消費量は、前月予測から搾油用需要が0.5百万トン上方修正され、前年度より3.4%増の50.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より71.6%増の6.4百万トンの見込み。なお、2020/21年度の輸出量は、上流の干ばつによるパラナ川の水位低下から輸出港の穀物輸出能力が制限されるため、前月予測から2.7百万トン下方修正され、3.7百万トンまで落ち込む見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2021年1～5月の輸出量は1.4百万トンで、前年同期（3.1百万トン）より55.5%減。内訳は、1位が中国69.5万トン、2位がエジプト45.6万トン、3位がチリ4.1万トンとなっている。引き続き、パラナ川の水位低下に伴うアルゼンチンの穀物等の輸出への影響に注視が必要である。

アルゼンチンは、バイオディーゼル用大豆の搾油を行うため、大豆輸出量よりも、搾油後に発生する大豆加工品の輸出が多く、大豆粕については、世界第1位の輸出国である。

アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019年12月から2020年3月にかけて、大豆、大豆油、大豆粕の輸出税を約25%から最大33%へ引き上げ、現在も継続中。

大豆ーアルゼンチン

(単位：百万トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	48.8	46.5	52.0 (50.0)	-	-	11.8
消費量	45.9	48.7	50.4 (47.5)	0.5	-	3.4
うち搾油用	38.8	41.5	43.0 (40.7)	0.5	-	3.6
輸 出 量	10.0	3.7	6.4 (7.2)	-	-	71.6
輸 入 量	4.9	4.7	4.7 (4.9)	-	-	-
期末在庫量	26.7	25.5	25.5 (4.3)	1.7	-	-
期末在庫率	47.8%	48.7%	45.0% (7.8%)	2.5	▲	3.7
(参考)						
収穫面積(百万ha)	16.70	16.60	17.20 (17.35)	-	-	3.6
単収(t/ha)	2.92	2.80	3.02 (2.88)	-	-	7.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

「World Agricultural Production」(12 July 2021)

IGC「Grain Market Report」(24 June 2021)

写真：北部サンタフェ州の大豆の貯蔵施設と施設内の
サイロバックでの貯蔵風景

(7月5日撮影)

貯蔵施設の容量を上回った分をサイロバック
で保管している。



< 中国 > 収穫面積減で減産見通し、輸入量は約1億トン

【生産・生育状況】USDAによれば、2021/22年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より3.1%減の19.0百万トンの見込み。

なお、中国中央气象台（2021.7.9）によれば、黒竜江省等東北地区は、播種期以来良好な天候に恵まれ、7月上旬現在、三葉期から開花期に入っている。

【需給動向】USDAによれば、2021/22年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、搾油マージンの悪化等により過去10年間に比べて消費量の増加ペースはペースダウンするものの、搾油用需要の増加から、前年度より4.5%増の119.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸入量は、中国国内の大豆備蓄が高水準となり、輸入量が搾油ペースを上回っていることから、前月予測から1.0百万トン下方修正されたものの、前年度より4.1%増の102.0百万トンで史上最高の見込み。

中国の貿易統計によれば、2021年1～5月の輸入量は38.2百万トンと、前年同期比で12.8%増。内訳は、米国産21.5百万トン（56%）、ブラジル産15.7百万トン（41%）。なお、遅れていたブラジル産大豆の収穫・出荷の進展に伴い、5月の輸入量はブラジル産が9.2百万トンと96%を占めた。

農業農村部「農産品供需形勢分析月報5月号」によると、5月前半、米国のCBOT大豆価格は16ドル／ブッシェルを突破し、2012年9月以来の最高水準に達し、国内大豆先物（国産大豆）の上昇を引き起こした。こうした中で、政府系企業による備蓄用国産大豆の買付が開始され、国内大豆価格が上昇した。5月後半、海外先物価格の下落等により国内大豆先物価格が下落し始め、気温が上昇するにつれ、大豆製品の保管が困難になるため、工場での加工量が減少し、低調な需要により、価格が下落に転じた。結果として、5月の国内価格（山東省の国産大豆工場渡し価格）は前月と変わらず、6,080元／トンで依然高水準である。一方、5月の国際価格（山東省の輸入大豆価格）は4,740元／トンと前月から大幅に上昇し、内外価格差は縮小した。今後の中国の輸入動向に注視が必要である。

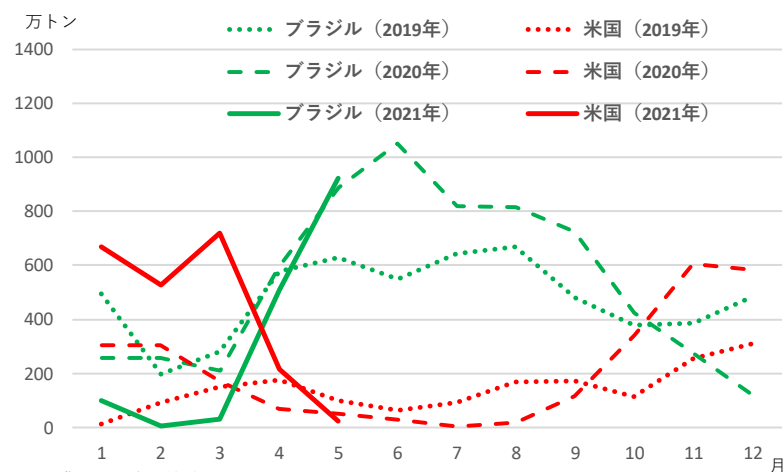
大豆－中国

（単位：百万トン）

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	18.1	19.6	19.0 (18.7)	-	▲ 3.1
消 費 量	109.2	114.5	119.7 (121.8)	-	4.5
うち搾油用	91.5	96.0	100.0 (102.6)	-	4.2
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (0.1)	-	-
輸 入 量	98.5	98.0	102.0 (104.5)	▲ 1.0	4.1
期末在庫量	26.8	29.8	31.0 (35.2)	▲ 3.0	4.0
期末在庫率	24.5%	26.0%	25.9% (28.9%)	▲ 2.5	▲ 0.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.30	9.87	9.60 (9.35)	-	▲ 2.7
単収(t/ha)	1.95	1.99	1.98 (1.99)	-	▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 July 2021)
IGC「Grain Market Report」(24 June 2021)

図：中国におけるブラジル、米国産大豆の輸入状況



出典：中国海関統計

注：2020年1月分と2月分は合計で公表されたため、便宜上1/2で按分

< カナダ > 高温乾燥の影響懸念も東部の降雨で緩和

【生育・生産状況】USDAによれば、2021/22年度の生産量は、主に収穫面積の下方修正に伴い、前月予測から0.3百万トン下方修正され、前年度より3.9%減の6.1百万トンの見込み。

カナダ統計局「Principal field crop areas, June 2021」（2021.6.29）によれば、世界的に旺盛な大豆需要と高価格に反応し、作付面積は前年度より4.9%増の2.15百万ヘクタールの見込み。

USDA「Weekly Weather and Crop Bulletin」（2021.7.13）によれば、6月以降カナダでは乾燥状態が続いていたが、大豆生産面積の約7割を占める東部カナダのオンタリオ州、ケベック州では7月上旬に降雨があり乾燥の影響が緩和された。一方、西部カナダの平原3州では、7月に入っても、高温・乾燥が継続し、土壌水分量は不足している。

なお、カナダ農務農産食品省(AAFC)「Outlook for Principal Field Crops」（2021.6.18）

によれば、2021/22年度の生産量は、高い大豆価格に支えられ、主産地のカナダ南東部オンタリオ州を中心に作付面積が増加するものの、前年度の高単収より低い過去5年平均単収を前提にすると、前年度より2.1%減の6.2百万トンの見込み。

【需給状況】USDAによれば、2021/22年度の消費量は、生産量の下方修正に伴い、前月予測から0.2百万トン下方修正され、前年度より5.5%減の2.6百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2021/22年度の輸出量は、生産量の下方修正に伴い、前月予測から0.1百万トン下方修正され、前年度より11.4%減の3.9百万トンの見込み。

カナダ穀物委員会(Canadian Grain Commission)によれば、2020/21年度(2020年8月～2021年7月)の2020年8月～2021年5月の輸出量は359.4万トンで、国別では、イラン(86.3万トン)、イタリア(38.6万トン)、アルジェリア(35.6万トン)の順。

大豆ーカナダ

(単位: 百万トン)

年 度	2019/20	2020/21 (見込み)	2021/22		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	6.1	6.4	6.1 (6.2)	▲ 0.3	▲ 3.9
消 費 量	2.5	2.7	2.6 (2.3)	▲ 0.2	▲ 5.5
うち搾油用	1.7	2.0	1.9 (1.8)	▲ 0.2	▲ 7.5
輸 出 量	3.9	4.4	3.9 (4.5)	▲ 0.1	▲ 11.4
輸 入 量	0.3	0.4	0.4 (0.4)	-	14.3
期末在庫量	0.7	0.3	0.3 (0.2)	▲ 0.1	1.5
期末在庫率	11.3%	3.8%	4.3% (3.3%)	▲ 0.6	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.27	2.04	2.10 (2.16)	▲ 0.10	2.9
単収(t/ha)	2.71	3.11	2.90 (2.88)	▲ 0.01	▲ 6.8

資料: USDA「PS&D」

「World Agricultural Production」(12 July 2021)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(18 June 2021)

写真: 西部サスカチュワン州の大豆ほ場風景
(6月30日撮影)



(参考) 本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2021/22年度)

	小麦	とうもろこし	コメ	大豆
米国	21年6月～22年5月	21年9月～22年8月	21年8月～22年7月	21年9月～22年8月
カナダ	21年8月～22年7月			21年8月～22年7月
豪州	21年10月～22年9月		22年3月～23年2月	
EU	21年7月～22年6月	21年10月～22年9月		
中国	21年7月～22年6月	21年10月～22年9月	21年7月～22年6月	21年10月～22年9月
ロシア	21年7月～22年6月	21年10月～22年9月		21年9月～22年8月
ブラジル		22年3月～23年2月	22年4月～23年3月	21年10月～22年9月
アルゼンチン	21年12月～22年11月	22年3月～23年2月		21年10月～22年9月
タイ			22年1月～12月	
インド	21年4月～22年3月		21年10月～22年9月	
ベトナム			22年1月～12月	

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2021/22年度は、米国の小麦では2021年6月～2022年5月、ブラジルのとうもろこしでは2022年3月～2023年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads> (「Reference Data」タブを参照)

【利用上の注意】

食料安全保障月報は、国際穀物需給に関し、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC 等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

○ 本月報に記載のない情報は以下を参照願います。

（１） 農林水産省の情報

ア 我が国の食料需給表や食品価格、国内生産等に関する情報

- ・食料需給表：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/>
- ・食品の価格動向：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/index.html>
- ・米に関するマンスリーレポート：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

イ 中・長期見通しに関する情報

- ・食料需給見通し（農林水産政策研究所）：<http://www.maff.go.jp/primaff/seika/jyukyu.html>

（２） 農林水産関係機関の情報（ALIC の情報サイト）：<https://www.alic.go.jp/>

- ・砂糖、でんぷん：<https://www.alic.go.jp/sugar/index.html>
- ・野菜：<https://www.alic.go.jp/vegetable/index.html>
- ・畜産物：<https://www.alic.go.jp/livestock/index.html>

（３） その他海外の機関（英語及び各国語となります）

ア 国際機関

- ・国連食糧農業機関（FAO）：<https://www.fao.org/home/en>
- ・国際穀物理事会（IGC）：<https://www.igc.int/en/default.aspx>
- ・経済協力開発機構（OECD）（農業分野）：<https://www.oecd.org/agriculture/>
- ・農業市場情報システム（AMIS）：<http://www.amis-outlook.org/>

イ 各国の農業関係機関（代表的なものです）

- ・米国農務省（USDA）：<https://www.usda.gov/>
- ・ブラジル食料供給公社（CONAB）：<https://www.conab.gov.br/>
- ・カナダ農務農産食品省（AAFC）：<https://agriculture.canada.ca/en/sector/crops/reports-statistics>
- ・豪州農業資源経済科学局（ABARES）：<http://www.agriculture.gov.au/abares>

○ 食料安全保障月報で使用している統計数値は、主に米国農務省が 2021 年 7 月中旬までに発表した情報を引用しています。

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されます**ので留意してください。
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。
<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>
(注：同サイトの「Reference Data」を参照)
- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差になります。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「食料安全保障月報」）を併記願います。

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

英国については、2020 年 1 月 31 日付けで EU を離脱しました。英国の小麦に関する情報については小麦の EU27+英国のコーナーで取り扱います。

- 本月報の電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 食料安全保障月報

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL : 03-6744-2368 (直通)
------------	--

